

# 表丹沢野外活動センター 令和7年度 事業計画書

## <内 容>

1. 管理運営の理念・基本方針
2. サービス向上策
3. 指定管理事業・体験プログラム事業
4. 自主事業
5. 安全対策・危機管理
6. 組織体制
7. その他（広報活動・利用促進対策）

## 1. 管理運営の理念・基本方針

表丹沢野外活動センターは、「表丹沢魅力づくり構想」において「表丹沢の自然体験拠点における山岳・里山アクティビティの活性化を支える施設」として位置づけられたことを契機に「表丹沢の様々な魅力を発信できる中心的な拠点」として、大きな役割を担うこととなりました。

私どもは、この役割を十分に理解し、以下の事業コンセプトのもと、「本物の魅力が見つかる表丹沢」という「表丹沢魅力づくりビジョン」の実現を目指します。

### 「表丹沢魅力づくりビジョン」の実現に貢献

↑ コンセプトの実現を通して

#### 【私どもが掲げる事業コンセプト】

#### 里山で遊び、里山で体験し、里山でつながる表丹沢！

##### 遊び・体験

自然豊かな里山環境や交通アクセスを活かし、あらゆる層の人々が、本来の主体的な遊びを通して様々な体験を共有

##### 自主事業等の充実

表丹沢の様々な自然の本物の魅力を見て触って、香り、味わえる自主事業、体験プログラム等の一層の充実

##### つながる

様々な交流を拡大して、日常生活の一部（市民）や第二の故郷（市外の方）と感じていただける管理運営

また、表丹沢野外活動センターに求められている役割を果たすことに加え、「安全・安心の確保を前提とするサービスの向上と管理運営の効率化」という指定管理者制度導入の目的も達成するために、以下の5つの管理運営方針を掲げます。

#### 【5つの管理運営方針】

- ① 表丹沢魅力づくり構想の中核施設としての役割を果たします。
- ② サービス向上や利用促進を図ります。
- ③ 安全・安心の確保を最優先した管理運営を行います。
- ④ 市民のみなさんと連携・協力した管理運営を行います。
- ⑤ 公の施設としての使命を果たす管理運営を行います。

## 2. サービス向上策

令和7年度は新たに、以下のようなサービス向上策を実施します。

- ソロキャンプ場エリア再整備。
- いり棟屋外スペース拡充。
- いり棟室内の空調設備増設。
- レンタル品による過ごし方選択の充実
- キッチンカーによる販売、試験導入。
- 地域食材を使用したイベントの検討
- ふるさと納税の返礼品施設利用の追加
- 体験イベント内容の充実
- 緊急時即時対応も含め、携帯電波改善をキャリアと調整。
- 宿泊棟クッションマット、井草畳へ変更検討。



## 3. 指定管理事業・体験プログラム事業

R5年、R6年度は市から実施が求められている指定管理事業を計21回に増やして実施しました。魅力的な体験プログラム事業とする為、回数を以前の13回にし、内容の充実を図ります。体験プログラム事業は24回行います。

### 【指定管理事業】

事業名	実施回数・時期
星空観望会	■年4回実施（5月、6月、7月、9月） みずがめ座η流星群 4月19日～5月28日 最も低い満月6/11、ペルセウス座流星群7月17日～ 8月24日、皆既月食9/8等
工作教室	■年3回実施（5月、8月、2月）
キャンプ教室 ※	■年2回実施（7月、10月）
アウトドアクッキング	■年3回実施（6月、9月、12月）
表丹沢野外活動センター フェスティバル&菩提 フェスタ	■年1回実施（3月）

※ キャンプ教室は女性、親子向けです。一般向けは自主事業で実施します。

### 【体験プログラム事業】

事業名	実施回数・時期
お茶摘み体験&新茶の天ぷらを食べてみよう	■年1回実施(4月)
ネイチャーゲーム体験	■年2回実施(4月、11月)
八重桜でシロップをつくってみよう	■年1回実施(5月)

### 【体験プログラム事業 (続き)】

事業名	実施回数・時期
森林セラピー	■年4回実施(5月、7月、10月、3月)
自然遊び 自然を歩いてみよう	■年1回実施(7月)
秦野トレイルランクラブ	■年4回実施(6月、9月、12月、3月)
野草スペシャリストから学ぶ 食べられる野草探し	■年1回実施(6月)
苔玉をつくってみよう	■年1回実施(6月、8月)
森林セラピー&ヨガ	■年2回実施(9月、10月)
秋のハイキング	■年1回実施(10月、11月)
歴史・文化財散策	■年2回実施(12月、2月)
草木染めをやってみよう	■年1回実施(1月)
秦野産そば・うどん等料理体験	■年1回実施(3月)

### 【その他の指定管理業務】

HPのリニューアルを行い、発信する情報には楽しさを伝えられる事を重視し、興味を持てる情報を作成する。表丹沢一帯の案内業務、市及び表丹沢エリアで活動する民間事業者、各種団体等をメンバーとする表丹沢ツーリズム連絡会議業務を通して連携する方法を検討、実施していく。

## 4. 自主事業

表丹沢野外活動センターでの活動を通して、表丹沢魅力づくりビジョンの実現に貢献するため、イベント内容を精査し、「魅力ある自主事業の追加」、実施します。自主事業では、施設利用や他イベントと併せて行う事が出来るプログラムを充実させていきます。※検討、調整中プログラムは回数の記載をしておりません。年間実施回数 12 回を目標として進めます。

**【森林遊び場の未活用地及び広場の活用促進に関する自主事業】**

事業名	実施回数・時期
竹の工作（けん玉等）	■年4回実施（6月、7月、11月、2月）
ソロキャンプ場	■通年実施

**【表丹沢全体の活性化に資する事業】**

事業名	内容
ジビエ料理を食してみる	秦野市ジビエを利用しつつ、他食材ではヤマメやイワナ等も含める。
山の丹沢行動食作り	秦野市産ピーナッツを使用して、ナッツブラウニー、梅塩キャンディ、塩レモン等。（夏季の熱中症、脱水症状を考慮。）ハイキング等プラン併用可。
梅塩作り	秦野市産梅を使用。BBQ 調理の幅を広げられる。他イベント併用可。
丹沢芋煮を流行らせよう	秦野市食材十足柄牛を利用。他イベントと併用可。
日本酒はなぜ和食と会うのか実食	秦野市の蔵の酒を使用。他プログラムの“日本文化の（山、川）の生き物を食してみる”と併用可。

**【施設利用促進、教室・教育事業等】**

事業名	内容
火起こし体験と着火原理を知って料理しよう。	火溝式火起こし、きりもみ式、ファイアロールテルミット式、ファイヤーピストン発火器。着火後に飲食プログラムと併用可。
山と川の生き物を食し、日本食文化を知って見る	ジビエ系では野鳥、真鴨、熊、スッポン、ナマズ、アユ、天然キノコ等。仕入先調整中。
保存食を作ろう	サイトを使用した燻製、塩漬け、梅塩等。日本の以前からの保存方法を知る。
男飯で奥さんのおもてなし。	調理人と調整中。他イベントと併用可。
パラコードでアクセサリ作りとロープワーク。	アクセサリ、キャンプ場の過ごし方の一つとして。コードのロープワークを学び、緊急時の利用方法も学ぶ。
間伐材、自然物から火口を作る。	キャンプ時間の過ごし方の一つとして。火起こし体験と併用可。
丹沢和紙を作ろう。	秦野市産ミツマタの調達確認中。他プログラム草木染めと併用可。

※学校施設向け、製作物も検討しております。

## 5. 安全対策・危機管理

事故未然防止のため、以下の4種類の点検を体系的に実施するほか、職員による施設内巡回を実施します。

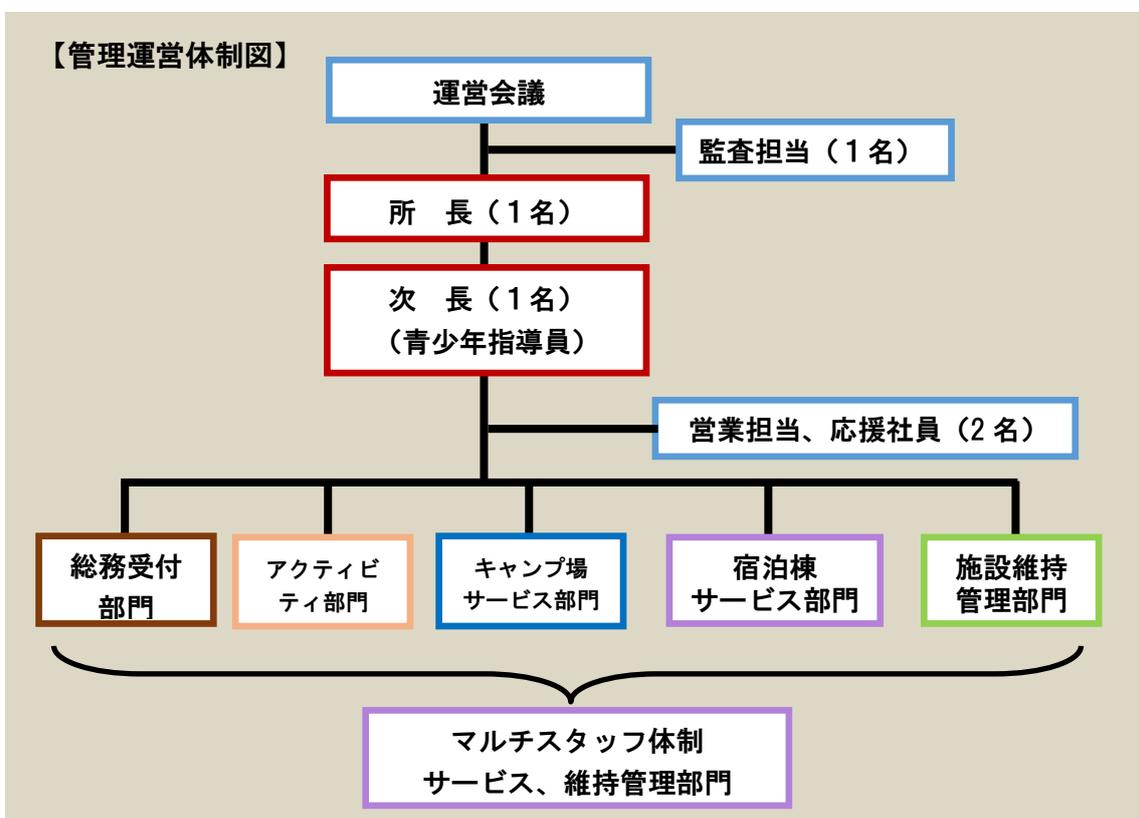
日常点検	職員が日常的に実施する点検
定期点検	法令、業務仕様書等に基づき定期的実施する点検
臨時点検	災害（地震・台風など）発生後に施設の安全を確認する点検
緊急点検	他施設での事故発生時に、表丹沢野外活動センターにおいて、同様の事故発生の可能性がないかどうかを再確認するための点検

また、熱中症防止対策として、管理棟のクーリングシェルターとして機能を継続します。8月の地震、9月の大雨災害を受け、危機管理対策として、緊急対応マニュアルの再整備、防災訓練・AED講習の実施、AEDカードの（職員による）常時携帯等の措置を引き続き実施します。



## 6. 組織体制

表丹沢野外活動センター現場には、所長1名、次長1名、営業、応援社員2名をメインとする。サービス・維持管理部門はマルチスタッフ体制にて引き続き対応する。合計16名（社員4名、アルバイトスタッフ12名想定）



## 7. その他（広報活動・利用促進対策）

具体的な広報活動・利用促進対策として、HP のリニューアル、Instagram を活用した情報発信。ツーリズムを通じてお互いに協力できる施設との相互リーフレットの設置協力を行っていきます。他には周辺施設との協力が出来る事を模索していきます。

- HP からのイベント情報取得、参加申込みの利便性向上を行う。
- HP との Instagram の運用からアクセス解析を進める。
- 条件が限定される利用者（平日等）に対して、効果的な情報発信先の調査と発信の実施を図る。